

# おおはらぼん



## 第13回 島根県作業療法学会 開催にあたり

第13回島根県作業療法学会 学会長  
医療法人財団 公仁会 鹿島病院  
永瀬 隆浩

来たる11月11日に第13回島根県作業療法学会を松江で行うこととなりました。会場は松江総合医療専門学校で開催します。

私個人的には学会長が初経験であり、拙い事も多いですが、周囲のスタッフに支えられながら着々と準備を進めています。

前回の松江橋北ブロック開催が第8回で、5年経過しており、この間にも会員数は増え、医療・介護情勢も変わってきていると思われます。今年度は診療報酬・介護報酬の同時改定も行われ、益々私達作業療法士の質の向上が求められることになってきています。

今回の学会のテーマは『脳の本質～世の中は夢かうつつか、うつつとも夢とも知らずありてなければ～』（古今和歌集）としました。私達作業療法士がどのように考えて、何をしていくべきなのか。臨床に対する新しい視点を考えられるきっかけになればと思い、誠愛リハビリテーション病院の林克樹先生をお招きして特別講演をして頂く事にしました。日頃の皆さんの臨床の糧になればと思っています。

その他にも一般演題発表とパネルディスカッションを企画しております。パネルディスカッションでは、NBM (Narrative - Based Medicine: 物語に基づいた医療) をもとに急性期・回復期・維持期の時期ごとの考え方、関わり方を参加者の皆さんと一緒に考えていけたらと思っています。

この島根県で頑張っている仲間の皆さんが、この学会に参加し、普段の臨床の悩みや日々の苦勞等を話せる場となり、有意義な時間となればと思っています。

多くの皆さんのご参加を心よりお待ちしております！！

# 「脳の本質」

～世の中は夢かうつつか、

うつつとも夢とも知らず

ありてなければ～

## 基調講演

中枢神経疾患の上肢と手の機能障害の理解と治療の視点

～高次脳機能障害やADL、歩行機能の関連性を見据えて～

# 林 克樹先生

第13回島根県作業療法学会

会期:2018年11月11日(日)

会場:松江総合医療専門学校

## 臨床実習指導者研修制度・臨床実習指導施設認定制度について

臨床実習指導者研修制度の導入は、実習指導者が指導に関わる知識や技術を習得すること、また、OT 個人の取り組みに留まらず施設全体で実習指導体制を構築し、実習指導の質を高め実習学生の到達点を引き上げる一助にすることを狙いとしています。

☆臨床実習指導者研修は初級研修、中級研修、上級研修があり、すべて受講すれば終了となります。なお、初級研修は現職者共通研修の「作業療法における協業・後輩育成」と「職業倫理」に包含されています。

2013 年度から 5 年間ににおいては免除規定が設けてあります。下記の表をご参照ください。

既存会員		平成 25 年以降入会
全研修免除会員 ① 認定作業療法士 ② 理学療法士作業療法士 言語聴覚士養成施設等教 員講習会受講者	初級研修免除会員 ・生涯教育現職者共通研修「OT における協 業・後輩育成」と「職業倫理」受講者  中級研修免除会員 ・認定作業療法士取得研修「教育法」受講者  上級研修免除会員 ・認定作業療法士取得研修「管理運営」受講者	全研修受講
免除研修に加え臨床実習指導の経験がある会員		

各研修をすべて修了し条件を満たした方は、申請により臨床実習指導者研修の認定申請・認定証発行を行って下さい。

☆臨床実習指導施設認定制度は①各養成校と臨床実習施設承諾書を取り交わし、厚生労働省もしくは文部科学省に臨床実習施設として届けられている施設であること。②前述の臨床実習指導者研修制度の各研修をすべて修了している OT が在勤していること（ただし、制度実施年度から 5 年間は研修免除規程を設ける）。③申請年度において過去 5 年間で 3 年以上臨床実習（6 週間以上）の指導を行なっている施設であること。④臨床実習指導体制（組織）が明確化され実施していること。など認定には条件があり認定申請と 5 年ごとの更新が必要になります。是非、日本作業療法士協会の提示する「臨床実習のあり方」に賛同し、積極的な受講や認定申請に協力していただければと思います。

# 生活行為向上マネジメント委員会からのお知らせ

MTDLP 委員会

県士会員の皆様には平素より生活行為向上マネジメントの普及にご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

今年は、協会の定義が変更となり MTDLP のコンセプトが盛り込まれ、昨今の報酬改定においてもマネジメントプロセスやアウトカム評価が重視されるなど MTDLP の考え方がそのまま活かさせられる状況が増えてきております。

そんな中、協会で MTDLP 士会連携支援室が立ち上げられ、HP に「MTDLP 実施・活用・推進のための情報ターミナル」が掲載されておりますのでご紹介いたします。

協会が開発した「MTDLP アプリ」や「新たな MTDLP 情報発信」などの情報が掲載されており、特にアプリケーションは用紙等の準備なく入力出来る様工夫されております！是非一度見てみて下さい。

協会 HP 下段「生活行為向上マネジメント」のバナーをクリック！  
または、QR コードでアクセスして下さい！



生活行為向上マネジメント士会連携支援室  
MTDLP士会連携支援室 | 生活行為向上マネジメント

作業療法が見える / 作業療法のプロセスツール  
生活行為向上マネジメント

MTDLP士会連

士会連携支援室からの情報

- 協会・士会・食民に必要なタイムリーな情報を掲載
- MTDLP情報ターミナル
- 協会の所
- 推進のポイント Q&A
- MTDLP士会連携に関するQ&A、第一回MTDLPのプロジェクト
- 最新
- MTDLPアプリケーション
- 効率的な実施環境の提案
- 必要時の実施環境の提案
- MTDLPシート
- プロジェクト
- MTDLP推進

MTDLP情報ターミナル

協会誌に連載中！

MTDLPアプリケーション

効率的な実施環境の提案

- ・概要説明書
- ・起動説明書
- ・readme
- ・ダウンロード

## MTDLP の研修や実践に関するご質問・ご要望等お寄せ下さい！

今年度も MTDLP 実践者研修を開催しておりますが、定期以外でも日時のご相談を頂ければ各施設単位での開催も可能でございます。その他、会員の皆様が気軽に実践出来る様、MTDLP に関するご質問・ご要望を頂戴できればと思いますので御座いましたら併せて下記の連絡先にご連絡下さい。

<今後の MTDLP 研修予定>

12月8日(土曜日): MTDLP 実践者研修 場所: 松江市内

3月 : MTDLP 推進研修

連絡先 : 生活行為向上マネジメント島根県 <shimane.mtdlp@gmail.com>



IT支援チームからのお知らせです

# - IT相談窓口のバナーを変更しました -

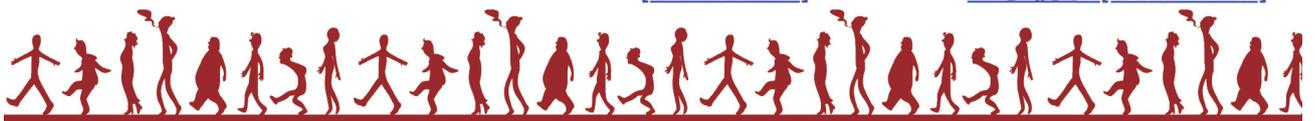
「相談窓口案内」と「コミュニケーション支援の手引き」を掲載しています  
ぜひご利用ください！



IT活用支援相談窓口  
[PDF: 778KB]



コミュニケーション支援  
の手続き [PDF: 3.4MB]



## 作業療法フェスタ2018 開催報告

平成30年9月17日(月)ゆめタウン出雲で「作業療法フェスタ2018」が開催されました。当日は天候に恵まれ昨年を越える664名の来場客を迎え大盛況の一日となりました。今年「人は作業をすることで元気になれる～作業療法と自動車運転支援～」をテーマに掲げ、作品展示・作業体験・福祉用具展示・高齢者疑似体験・書籍紹介・白衣体験、おしごと体験・養成校ブース・まめなくんと8つのブースを設けました。当日はしまねっこも遊びに来てくれて賑やかで楽しいフェスタとなりました。フェスタに参加して初めて作業療法という言葉にふれたという方もおられました。様々な体験やフェスタスタッフの作業療法士との会話を通して作業療法士の仕事に興味を持って頂ける方も多かったです。作業療法フェスタ2018を通し県民の皆様に少しでも作業療法を知って頂く機会となったなら嬉しく思います。会場にお越しいただいた皆様、スタッフとしてご協力して頂いた皆様に感謝いたします。



## 平成 30 年度島根県作業療法士会交流会について

益田医師会病院 吉松 鷹志

今回の福利部の活動は、出雲市にあるスポーツクライミング「トランス」にてボルダリングとホテルニューウェルシティにて食事会を行いました。ボルダリングをご存じない方もおられると思うので、簡単にボルダリングを説明すると、壁に設置されたホールドという突起物を活用して3～5m程度に設置されたゴールまで登っていくというスポーツです。余談ですが、最近では8月に開催されたアジア大会で野口哲代さんという女性アスリートが、金メダルを獲得し話題になったのが記憶に新しい事と思います。参加された皆さんは慣れないスポーツであるボルダリングに触れ、失敗を繰り返しながらコースに登れた、登れないという結果に一喜一憂しながら、休み休みのんびりとした雰囲気の中で交流を深めながら楽しまれていました。食事会はビュッフェ形式のため、様々な料理があり、食事を楽しみながら交流を深めていきました。

参加を通して感じたこととして、私の出身、出身校は山口県なのですが、知りあいの作業療法士が島根県に在籍されていないこともあり、勤務先の病院以外の病院やサービスに関して無知でしたが、聴ける相手も同僚以外おらずどこか肩身の狭い思いがありました。しかし、福利部の活動である前年度のボーリング大会、中国ブロックのサッカー大会、今年度のボルダリングの交流会に参加してから、別の病院で勤務されている作業療法士の方との交流も増え、意見交換を行いリハビリに対する考え方や他病院やサービスの知識を深めることに繋がりました。現在、超高齢社会が迎えるにあたり、様々な医療ニーズに対して、これまで以上に多職種や地域の連携を図っていく必要がありますが、まずは同じ医療従事者である私たち作業療法士同士がこれまで以上に密な連携が必要だと考えます。そのためにも、今回のような交流会は比較的交流が図りやすく、別の病院の方と関係を築いていくには最適な交流な場ではないでしょうか。私は勉強会など参加したくても知った人がいないなどの理由から勉強会の参加をためらうことがありましたが、交流の機会があつてから勉強会の参加もしやすくなったように実感します。もし、同じような考えを持つような会員の方がおられたら試しに交流会に足を運んでみていただけたらと思います。

最後に、今回の参加者は会員のお子さんを含めて7名と少ない人数での開催になりました。参加者の大半が益田市からと遠方の参加が多かったため、出雲や松江等東部からの参加者も確保して、県士会員同士の交流がもっと図れる機会を増やしていきたいように福利部の一員として尽力していきたいと考えます。



会員番号2302番！OT歴32年！今、県士会でも中堅どころとしてご活躍中の皆さんがオギャーと生まれられた頃に数少ないOTとして勤務を始めました。

現在、島根県士会の副会長兼作業療法推進局長としての任に携わらせていただいておりますが、実は私が新人の頃は同じ医療職であっても「PTは足のリハビリ、OTは手のリハビリで手工芸を教えてくれる人」といったようにOTに対する認識が薄く、一般の方々においては「作業療法って何？聞いたこともない」と言う状況でしたので、すでにその当時からOTという職業をもっ

ないと使命感を持っていました。30て行く事に加えて『いかにして地域か』という点に焦点を当てて推進事

さて日々の業務においては、平成入所・通所・訪問リハと介護保険制時には1人職場であったのが今では数となりました。OTを必要としてもより、16名のスタッフの個性を補い合い、優れたところは伸ばしてしているところです。ただし、いく

ワハラにならないよう精神的気苦労 皆さんより少し多めの人生経験・起こりうるであろう事案が予測でき様々な対処法など後輩の方々にアドバイスをしていく事がベテランと言われるようになった今の私の役割であると思っています。

しかし、時にジェネレーションギャップを感じる場合もあります。《老いては子に従え》の諺のように、時代に合った柔軟な対応も必要ですね。体型だけではなく心もま〜ん丸にして時代の流れに乗り遅れないよう更に頑張っていきます。

## ベテラン奮闘記

と広め、推進していかなければなら年以上たった今では、OTの名を広め社会の中でOTを必要としてもらえる業を進めています。

3年より老人保健施設で勤務を始め、度にどっぷりと浸っています。入職PT・OT・ST合わせて16名のスタッフただいている利用者さんへの関りは見極めながら不足しているところはいけるように管理業務にも四苦八苦ら管理指導と言っても今流行りのパは絶えません。

OT経験を重ねる事で、これから先

る事や、何かトラブルがあった時の

## 県士会長 コラム

(社)日本作業療法士協会協会の定める倫理綱領のなかにも「作業療法士は、後輩の育成と教育水準の高揚に努める」と謳われており、臨床実習指導もそのひとつにあたります。今までは、実習指導者は3年以上業務に従事したものとされていたものが、今回、理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則が改正され、「実習指導者は5年以上業務に従事し、かつ所定の講習会を修了したもの」と示されています。この所定の講習会の中に(社)日本作業療法士協会協会の臨床実習指導者中級・上級研修も含まれています。協会の生涯教育制度は今まで様々な改編を重ねられてきていますが、いずれも作業療法士の(提供される作業療法の)水準を担保し社会貢献を果たすものとして示されています。当士会でも今年度より現職者共通研修を2日間で全て受講できるよう再構成し多くの方に受講いただきました。どうか一人でも多くの会員が修了し、まずは認定作業療法士へと歩みを進めていただくこと、臨床実習指導を担える人材となっただくことを願っています。生涯教育制度の改定・養成校指定規則の改定詳細については協会HPにてご確認ください。

た す き り し ェ

## 浜田市健康福祉部

こんにちは。浜田市健康福祉部です。西部島根医療福祉センターさん、見事なバトンパスありがとうございます。さて、浜田市役所内には、浜田市地域包括支援センター、浜田市医療介護連携センター、浜田市子育て支援センター、国保直営診療所などを併設しているため、作業療法士1名以外に、医師5名、保健師21名、社会福祉士4名など多くの専門職が働いています。OTは主に地域リハ活動支援事業、介護予防普及啓発、地域ケア会議、認知症施策の推進、生活支援体制整備事業など介護保険制度の地域支援事業を担っています。それら以外に、障害児・者への相談支援、幼・保育所巡回による発達相談などに対応しています。近々に「(仮称)浜田市リハビリ連絡会」を立ち上げる予定にしており、みな様のお力添えをお願いします。それでは、社会医療法人清和会西川病院さんに、バトンをお渡ししたいと思います。よろしくお願いします。

## コミケア

こんにちは。コミケアの藤井(OT)、佐伯(PT)、萬代(OT)です。島根リハビリテーション学院さんからご紹介頂きました。よろしくお願いします。

主に訪問リハビリに携わり、利用者さんの住まいを訪れ日常生活や難しい生活動作の支援を行っています。リハビリの成果が生活の変化としてすぐに現れることがこの仕事の喜びです。

訪問では雲南市中を駆け巡ります。自然豊かなこの場所でのびのび仕事できることも喜びの一つです。興味がある方は見学にお越しください。お待ちしております。

Communiy：人と人とが支えあう関係性の中で  
Rehabilitation：

その人らしさを大切に自助を支えます。

Communiy Rehabilitation：

あなたが居たい関係性の中で、あなたらしく暮らすを実現する。



次は、奥出雲病院さんよろしくお願いします！

### “男の料理”

～お味噌汁の残りで簡単 味噌風味の焼きゾット～  
イタリアンのシェフ考案、以前テレビで紹介されていた料理です。味噌汁とごはんのネコまんまで簡単調理、味噌風味の焼きゾットです。

<材料>  
味噌汁：一杯  
ごはん：一杯  
とろけるチーズ：3枚  
オリーブオイル：小じ2+適量  
粉チーズ：適量

<作り方>  
・残った味噌汁の中にご飯を入れ冷蔵庫にひと晩寝かせる。  
(味が染み込み、適度な硬さになります。)  
・オリーブオイルをひいたフライパンで焼く  
・最後に粉チーズとオリーブオイルをまわしかける。



必要な材料も余り物を使い、短時間で調理も出来ます。味噌の風味とチーズがよく合います。ポイントは味噌汁とごはんのねこまんまを一晩寝かせることです。

## 便利グッズ♪

## ～お料理グッズ～

こちらは皮むきピーラーになります。通常使用するピーラーとは異なり上部に蓋が付いており剥いた野菜などの皮が本体に留まっていき剥き終わった後にまとめて捨てる事が出来ます。そのため三角コーナーにいっぱいまで溜まることなくきれいに調理を行うことが出来ます。

また、上部の蓋の中に溜まっていく様子が普通の皮むきとは異なるため子どもさんでも楽しんで料理のお手伝いが出来るかと思えます。これから寒くなり暖かいスープがおいしくなる季節となります。ぜひ使用してみてくださいはいかがでしょうか。



ジャスミンの  
ちょっと一言いかしら

## 「大きなお友達デビュー」

皆様ごきげんよう。体重のせいかわ運動負荷の影響か膝が痛くなって来たわ。膝を労わるためにも、潤滑油として揚げ物を食べたい。あくまで膝の為よ。そんなジャスミンよ。

来る9月17日ゆめタウンへ行ってきました。普及啓発事業「OTフェスタ2018」のスタッフとして参加してまいりました。昨年と比べて天候にも恵まれ、多くの方にお越しいただきとても賑やかに過ごせました。ショッピングモールの通用口から入る事、社員食堂で(場所だけお借りして)食事を摂る事。色々刺激的でした。

それに会場には念願の島根の黄色い猫も来ていました。思わず駆け出して最後の最後に写真を撮ってもらえました。これで私も大きなお友達デビューね。つつい抱き着いた猫は大きかった。お社をかぶった頭も大きかったわ。その後も様々な制約がある中で、上肢機能評価やモザイクアートもしてくれたわ。あれが神対応と言うのかしら。自分自身がスタッフであると言うことを忘れて、写真撮って楽しんでいたわ。お恥ずかしい。

こんな緩い内容なので、連載スペースが年々縮小されています。これから少しでも大きくなりますように。では、ごきげんよう。

## 広報部からのお知らせ

### 会員の皆様へ

平素より島根県作業療法士会の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。さて6月に開催された総会の第6号議案にて可決を頂きました『おおはいごんの発行変更について』再度ご連絡させていただきます。

島根県作業療法士会も現在は500名を越える会員が在籍している。人数が少ない頃は、おおはいごんを各会員へ県士会内のニュースなどお知らせしていた。現在は、ブロックメールやホームページ、SNSを通じてより早く情報を伝達することが可能となった。

これまでおおはいごんは、個人を対象に県士会内のニュースを目的に発送していたが、現在は様々なツールを使用することで、それを補うことが出来るのではないかと思われる。そこで、おおはいごんの発送先を次年度以降より各個人から施設へ変更したいと考えている。

会員数の増加に伴い、おおはいごん発行費用も増加することも考え、この発行費用を抑制し、島根県作業療法士会が主催する研修や一般の方への普及啓発などの費用に充て還元していくこととする。

#### 『おおはいごん30年度発行予定』

平成30年度7月号全

会員、他都道府県、関係機関配布＋電子媒体 配布

平成30年度10月号・1月号

各施設・自宅会員、他都道府県、関係機関各1部配布＋配布＋電子媒体 配布

『おおはいごん31年度以降』

電子媒体のみ

平成30年10月31日 現在 施設数133 会員数508名

一般社団法人 島根県作業療法士会ニュース 年3回発行

□編集担当 白鹿真之介・石倉健一・岩田竜太・足立貴哉・山崎真悟・高木良大・和久利洋平・長谷川藍・山根結衣・石田敦史  
□投稿（400字程度）、提案、情報提供を歓迎します。

発行所 〒692-0011 島根県安来市安来町899-1

一般社団法人 島根県作業療法士会広報部 社会医療法人 昌林会

介護老人保健施設 昌林会 (TEL 0854-22-1234 FAX 0854-22-5827)

発行者：小林 央／編集者 石倉健一・白鹿真之介

印刷：障がい者支援施設 授産センターよつば（〒690-0131 松江市打出町43）